

アトリエ 琉游舎 だより 71号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/

2020年1月29日発行

琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

鬼は内 福は外



- 節分の豆撒きは「鬼は外 福は内」、昨年のこの欄でも書きましたがところによっては「鬼は内 福は内」です。しかし圧倒的多数の家では鬼は外に追い出されているはず。
- では家の外に追い出された鬼は2月の寒空の中何処に行ってしまったのでしょうか？と考えるとそこに物語が生まれます。ネットでちょっと検索しただけでも「鬼は内 福は外」と言って豆を蒔くお話（民話）がいくつかヒットします。
- このお話の典型は、貧しく淋しく暮らす人が間違っ「鬼は内 福は外」と豆撒きしてしまうと、よその家で「鬼は外」と豆をぶつけられ追い出された鬼たちが喜んでやって来てその晩は賑やかな酒盛りになります。招かれた礼に打ち出の小槌や金棒などを置いて帰りその家に富をもたらすというお話。大同小異ありますが、概ねこんなところですよ。
- 物語から教訓を導くのも野暮なのですが、鬼も優しくされるとつい礼をしたくなってしまうのですね。元来悪い物、怖ろしい物の代名詞として使われるイメージが強い「鬼」という言葉ですが、善神として神社に祀られている鬼も日本各地にあるようです。
- 節分の豆撒きは鬼が災厄をもたらすので家から追い払うという信仰ですが、逆に鬼が目に見えない災いを追い払い幸福をもたらしてくれると考えると、年に一回くらいは鬼を家に招くのもいいかもしれません。その鬼に私は日常に慣れきった心を一度きれいに掃除させて、改めて福の種を植え直すために一旦、福（日常）を外に追い出してもらいます。
- 民話から随分飛躍してしまいましたが、私の「鬼は内 福は外」は、当たり前と思って安心している日常（福）を一度疑い確認するチェック機能のようなものかもしれません。
- ただ福を外に出したまま、再び内に招き入れ忘れてはいけないので「鬼は内 福は外」と「鬼は外 福は内」を交互に繰り返す方法を今年は採用してみたいと思っています。

写経会

2月2日(日)
13時半から

読書会

2月11日(土)
13時半から

居酒屋の会

2月25日(火)
16時から

映画会

毎週木曜日
13時半から

琉游舎は2月8, 9, 10と休舎します

2/6 木	13時半	バルカン特急 (98分)	ヒッチコック監督。東欧から英国へ帰る列車の中である婦人の失踪に気づいた主人公。しかし他の乗客はその婦人の記憶はなく、、、ヒッチコック英国時代の傑作。
2/13 木	13時半	ウンベルトD (88分)	ヴィットリオ・デ・シーカ監督。一人暮らしの老人ウンベルト。家賃は値上がり、年金は上がらず、彼は金策に奔走するが現実を変えることが出来ず、、、
2/20 木	13時半	愛情の瞬間(103分)	ジャン・ギャバン主演。医師のピエールが瀕死の画家ダニエルの部屋でみた写真は、妻と一緒に写るダニエルの写真だった。三者三様の愛の形を語る恋愛心理劇
2/27 木	13時半	マルタの鷹 (100分)	ジョン・ヒューストン監督、ハンフリー・ボガード主演。私立探偵サム・スピードは莫大な価値を秘めた彫像「マルタの鷹」の争奪戦に巻き込まれていく、ハードボイルド探偵映画。
3/5 木	13時半	海外特派員 (120分)	ヒッチコック監督。開戦前夜の欧州に派遣された新聞記者ジョーンズ。戦争回避の鍵を握る政治家が暗殺され、彼は犯人に追われる身となる。セスペンス映画の原点。
3/12 木	13時半	郵便配達は二度ベルを鳴らす(134分)	ルキノ・ビスコンティ監督。ジーノはドライブインの人妻と恋に落ちる、彼は逃避行を試み彼女は夫の殺人を企て、ジーノを共犯者に巻き込み、、、

まだ新芽が出る前の一月下旬、寒中の晴れた日、外に出るとどこからか草木を燃やすにおいが微かに流れてきます。霞ではないのに景色が少しけぶり厳しく冷えた大気が和らいだような錯覚に陥ります。どこかで野焼きをやっているようです。子どもの頃はあちこちで見られた風景。春を招くどこか郷愁を誘う野焼きのにおい。ところが最近では法律で制限され、勝手に野焼きをしてはいけないようなのです。野焼きの火が民家に延焼したらどうしてくれる、煙が目や喉を傷める、灰で洗濯物が汚れる、有害物質が燃えている、大気汚染だ。とこのような苦情が役所や消防に寄せられたからなのでしょう。確かに風の強い日の野焼きは火事の危険を高めます。どさくさに紛れて産業廃棄物を燃やしてしまう不届き者もいるでしょう。しかしそれらはルールを徹底し注意を払えば防げる問題です。空気中にただよう灰や匂いはどうしようもありませんが、これも年に2、3日程度でしょう。その日は洗濯物を外に干さず外出時にマスクをすれば済む問題です。花粉アレルギーの方はたくさんいますが野焼きアレルギーになったという話は聞きません。花粉アレルギーの大きな実害に比べて野焼きの害は果たして法律で禁止するほどの公共の利益に反することなのか疑問です。

私がここで言う野焼きは野山の枯草や田んぼの畔や河川敷を燃やして大地を再生させるための行為を指します。日本の自然はそのまま放置すると草原は森林へと遷移していきます。野焼きを行うことでこの遷移がリセットされ1年毎に植物にも微生物にも人間にも最適な大地の再生が行われます。1年間人やそのほかの生き物によって酷使された大地は、野焼きすることでまた次の1年も同じ大地環境を生きものに提供してくれるのです。循環型の自然環境は野焼きという人為によって作られている面があると言ってもよいでしょう。ここで言う人為は「自然のありのままと共棲する方法・手段」ということです。「自然は人為によって破壊される」という考え方が環境保護運動の人たちの根底にあるとしたら、私はそれに賛成することが出来ません。私は自然豊かなかつての里山の地で4巡目の季節を過ごしていく中で、生き物が定住できるはずの大地の環境が毎年変わっていくことに驚かされています。例えば耕作放棄地です。かつての田圃は雑草地からいつの間にか笹が茂り今は実生の雑木が生え始めています。何年か後にはそこは雑木林になっているでしょう。そして猪や狸が棲みつくようになるはずで、人の住む領域に点々と形成される新たな雑木林群。かつて先祖たちが苦労して開墾した耕地はまた荒地に帰ってしまう。これを自然保護、地球温暖化対策の観点からは望ましいことと単純に考えるほど私はお人好しではありません。これは自然保護ではなく自然の放置です。環境保護ではなく環境破壊です。人為がなければ人と自然は共棲できなくなります。すると今度は自然を「管理（マネジメント）」する思想が幅を利かせます。自然との対話を打ち切り拒否する思想です。

自然は人が管理できるものではありません。「保護」も「破壊」もその根底には、人はすべての存在の管理を神から委託されているという傲慢な思想が流れているような気がしてならないのです。世界の経済人が集まるダボス会議の議論が環境問題一色だったと報道されています。経済はどんな専門用語で語ろうが本質は「損得勘定」です。ということは環境問題も「損得勘定」だと言うことでしょうか。私は経済人や政治家そして未だ大学で経済学を学ぶ前の若者たちが環境問題を論じ合う状況を見て違和感を禁じ得ません。「損得勘定」によって仕切られている土俵の上で環境相撲を取っても私には勧進興行の類いにしか見えないのです。私たちは損得勘定とマネジメントの呪縛から自然を解き放ち、人は自然の一部としてありのままに自然と共棲していくことが、唯一地球が永遠のいのちを獲得することの出来る道だと信じるべきなのです。

野焼きの話から随分大げさな話になったように見えるかも知れませんが、実は野焼きは焼き畑農業と同じ意味合いだったと思われまふ。これは原始時代から続く人と自然との共棲の手段です。この人為は循環の論理によってできています。循環サイクルは自然の大きなサイクルの中で人も樹木も動物も生きものすべてが互いを食べて排泄し利用し合う食物連鎖の中で生きていくということです。棄てる物が一切ない100%リサイクル・リユースです。農業や漁業や狩猟はその自然の循環サイクルの中で人為のなす一部分です。そしてその中でもごくごく一部が野焼きだと私は考えます。野焼きを禁じると雑草を除くため除草剤を撒きます。その段階で循環サイクルは修正を余儀なくさせられるでしょう。除草剤は大地の微生物を殺し土地を痩せさせ化学肥料の使用が必要となります。次々と修正を重ねていき、リユースできない廃棄物はどんどんたまっていきます。人は原始的な自然の循環サイクルを修正していく過程を科学の発展、文明の進化というかも知れませんが、逆に大量の廃棄物が生み出されそれを自然に戻す処理をしなくてはならなくなったのです。そしてついに人はどうやっても自然に帰ることが不可能な核廃棄物というエイリアンを生み出してしまいました。

直線的な時間観と生命観しか持てない人々は地球に永遠のいのちをもたらすことは不可能でしょう。幸い私たちは仏教の輪廻という循環する時間観と生命観を持っています。保護と破壊の論理ではなく共棲と再生の論理です。永遠のいのちとは個人や個体の生命ではありません。それは地球を含めたすべての存在のいのちを認め、そのいのちを互いに尊重し繋ぐことに日々を生きることで、それによって得られる「信」です。

再生可能エネルギーのための無粋な黒いパネルが森林の代わりに山肌をすべて覆っています。この山はもう再生不可能でしょう。あの黒い巨大なパネルは耐用年数が過ぎたら再生不可能な 琉游舎：戸井 出琉・恭子 巨大な粗大ごみでしょう。クリーンエネルギーが作るダーティー お問い合わせ先：0287-53-7848 08033508152 なゴミ。私たちはこのアイロニーを笑えるでしょうか。（出琉） 矢板市大概2319-17コリーナ矢板C-850